

2012年8月1日～2019年12月28日の間に  
札幌医科大学附属病院消化器・総合、乳腺・内分泌外科において造影超音波を受けられた方に  
「乳がんに対する造影超音波の造影域が示す病理学的所見についての  
後方視的研究」のご協力のお願い

研究責任者：札幌医科大学附属病院 消化器・総合、乳腺・内分泌外科 助教 島 宏彰  
研究分担者：札幌医科大学附属病院 消化器・総合、乳腺・内分泌外科 教授 竹政伊知朗  
札幌医科大学附属病院 消化器・総合、乳腺・内分泌外科 講師 九富五郎  
札幌医科大学附属病院 消化器・総合、乳腺・内分泌外科 診療医 和田朝香

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の目的

乳がんに対する造影超音波の造影域はしばしば腫瘍外にも及ぶことが知られてます。乳がんの特徴的な所見として注目されていますがその原因は明らかになっていないためその解明を目的としています。

### 2) 研究の意義・医学上の貢献

この研究科は超音波検査あるいは造影超音波検査が外科領域の手術精度の向上に寄与すると期待されます。さらに安全な治療を行うために、このような取り組みは非常に重要であると考えます。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象症例者

2012年8月1日～2019年12月28日までに、札幌医科大学附属病院消化器・総合、乳腺・内分泌外科において乳房造影超音波検査をうけた患者さんを対象としています。

### 2) 研究期間

病院長承認日～2022年6月30日

### 3) 予定症例数

全体で150例を予定しています。

### 4) 研究方法

術前に施行された造影超音波の所見と手術病理組織像を比較して、実際の病変の広がりをどのように見ているのかを調べます。また、同時に超音波と病理組織像も比較し、これらの違いを考察します。なお、この研究を行うことで患者さんに通常診療以外の余分な負担は生じません。

### 5) 使用する情報

当院のカルテに記載された情報の中から以下の内容を使用させていただきます。分析の際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 年齢、BMI、病理診断結果
- 超音波、造影超音波の画像データ

#### 6) 情報の保存、二次利用

本研究で用いる情報は、電子カルテデータより年齢などを使用し、造影超音波、超音波検査の画像データなどを使用します。これらは匿名化された状態で管理されます。

#### 7) 情報の管理責任者

この研究で使用する情報は以下の責任者が管理します。

札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科 助教 島 宏彰

#### 8) 研究結果の公表

この研究は氏名、生年月日などあなたを特定できるデータをわからない形にして学会や論文で発表しますのでご了承ください。

#### 9) 研究に関する問い合わせなど

この研究にご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてあなたもしくは代理の方にご了承いただけない場合は研究に使用しませんので 2021 年 12 月 28 日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。お申し出をいただいた時点で研究に用いないように手続きをして研究に用いられることはありません、この場合もその後の診療など病院サービスにおいて患者さまに不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

札幌医科大学附属病院 消化器・総合、乳腺・内分泌外科

氏名：島 宏彰

tel 011-611-2111 内線 32810（平日：9時～17時）

tel 011-611-2111 内線 32910（休日：9時～17時）5階南病棟

fax: 011-613-1678